

科目名 (科目番号)	生活環境論 (062261)	教員名 縄井 清志	学科等	理学療法	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			オフィスアワー			A303研究室	
授業概要	<p>本科目では、心身に何らかの障害を持つ障害者・高齢者が、生き生きと生活できる住居環境・地域環境は、どのようにあるべきかを解説する。住居環境については、住宅改造・リハビリテーション機器の導入といった物理的環境調整と介護に関する人的環境調整から、望ましい改善方法について学習する。</p>						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	生活環境とは	到達目標: 物理的環境、経済的環境、制度的環境、人的環境を理解する 学習内容: 人間の生活環境を多面的に学習する。				
	2	生活環境と障害	到達目標: 生活環境整備における理学療法士の役割を理解する 学習内容: 高齢者の生活環境整備やICFの特徴を学習する				
	3	在宅支援サービス	到達目標: 地域包括支援システムを理解する 学習内容: 高齢者の障害予防と医療、福祉の連携学習する。				
	4	生活環境整備の進め方	到達目標: 生活環境評価を理解する 学習内容: 在宅生活における環境の評価を学習する				
	5	地域環境と公共交通	到達目標: 車いす・歩行器・杖等の適用について理解する。 学習内容: 屋外用福祉用具の種類・用途・効果について学習する。				
	6	転倒予防と環境調整	到達目標: 障害者や高齢者に必要な公共建物を理解する。 学習内容: 公共建物での障害者対策を学習する。				
	7	災害時の環境調整	到達目標: 住みよい街づくりについて理解を深める。 学習内容: 障害者や高齢者に必要な移動・交通機関について学習する。				
	8	授業整理と試験	到達目標: 住みよい街づくりについて理解を深める。 学習内容: 理学療法について多面的に理解する。				
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)						
教科書	標準理学療法学日常生活活動学・生活環境学 第5版 生活環境学テキスト	編集 鶴見隆正 監修 細田多穂					医学書院 南江堂
参考図書	必要に応じて適宜紹介する。						
教員からのメッセージ	できるだけ実践例や映像を交えて講義する予定ですが、授業の進行度合いによって授業内容を変更します。						